

磐城日報

発行所 磐城日報社
電話(呼)一〇三八番
編集 後藤幸夫
印刷 丸山徳平
毎週水曜日休刊
一ヶ月三十四日
購読料 郵部一四

水浸しの船室から 機関長の死体発見

船長以下は遂に行方不明

塩谷崎沖十四哩附近で轉覆結果機関室に全町上明神村長會では十六日總會を開き、千代丸二十八トンは十町二九機関長佐川國雄(六六)と運管方法を協議するが、二日出動した共榮丸、第二の屍体を発見したのみで外、二日頃から開店し、意圖である。

平分局主催の のど自慢大會

舊正月三日晝夜舉行

毎年一回NHKで開催され、平分局主催ののど自慢大會は、舊正月三日の晝夜、平分局のラヂオ巡回相談は廿七日石城郡上遠野廿八日入遠野の各郵便局で行れる。

石城町村會病院

二月頃から開業

石城郡町村組合綜合病院と元の炭礦綜合病院に對して開業する事に話がまとまり、程政府交付金二百十七万七千圓が決定したので、町せ長じゆばん紺色のハーフが集まり全村調査委員を中

電話ケル

平電氣通
信管理所
では故障
地区(小學校)同日午後一時
の多い平、東京間線、勿來間
の電話ケル線修理に着
手したが二月下旬迄に完成
の豫定で工費は五百萬圓

ボロ回収

五等當籤分入荷
市内各小學校で行つたボロ
の回収の廿三年度報償物
の五等當籤の金額は四二
十錢一町目の仙臺屋と四町
目山崎で引かへるが當り
籤は六二、七二、八二、九
九、三四、一五二、二四六

慘！生活苦か 二兒を殺し母自殺

昨十二日正午頃湯本町關船
字矢津地内の山林に国防色
のオーバーを着た四才位の
男の子と二才位の男の子二
人が共にしめ殺されている
のを部落の白鳥廣さん(五
六)が発見、湯本町署に届
けた、死体の上にはネンネコ
はんでんがかけてあり、附近
に女物の手提カバン女下駄
が捨てられてあつたまた同
夕刻子供達の母と見られる
三十二、三才位の女が同字
の塚の越地内湯川に水死体
となつて浮いてゐるのを通
人が発見した、女は身長四
尺八寸位パーマネットをか
かへ、時から小學校で平市との合
表會を開くが成行は注目さ
れてゐる

合併問題で 初の調査發表會を開く

平市は三保育園
廿四年度に集つた共同募金
の配分は去る十一月縣廳で
開かれた委員會で日赤が二
十五%、社會事業團體が七
十五%と決定したが平市の
受益團體は隣保、高月、鷹
崎の三保育園で縣より係員
が來平の上十七、十八日の
二日間前記三園を調査する

全技能者養成

則等につ
いて係員が出張十七日植田
地区(小學校)同日午後一時
の多い平、東京間線、勿來間
の電話ケル線修理に着
手したが二月下旬迄に完成
の豫定で工費は五百萬圓

教育職員免許講習

十三日午前十時から平第一
小學校校法室で渡邊内池兩
氏を講師として教育職員免
許講習會を開いた

X光線で

精密検査施行
平保健所では廿三、四年度
のツベリクリン反應陽性者
(工場、學校、社會、從業
員)に對し精密検査をしよう
と今月末日から来月初旬に
該當者を間接撮影するが希
望者は十七日迄に同所届出
の要望してゐる



共同募金

平市は三保育園
廿四年度に集つた共同募金
の配分は去る十一月縣廳で
開かれた委員會で日赤が二
十五%、社會事業團體が七
十五%と決定したが平市の
受益團體は隣保、高月、鷹
崎の三保育園で縣より係員
が來平の上十七、十八日の
二日間前記三園を調査する

小野榮で

お得意へサービス
平市四町目小野榮呉服店
は今回織物消費稅が廢止の
おとく意欲へサービスする
地友仙類を特別價格で販賣
する事になつた

五風十雨

山形縣の酒田市
では隣接の飛鳥
村を合併する事
に決定した茨城
縣の水戸市でも
隣接の線岡村を
合併するという、酒田の
場合は飛鳥村民の殆ん
ど全部が賛成しており、
水戸の場合でも線岡村に
對しては賛成が大半

三光電氣株式會社

取締役社長 鈴木寅次郎
取締役 菅原 喜一 監査役 水野 皓市
同 草野 由男 相談役 強口 唯七郎
同 志賀子之松 同 猪狩 四郎
平市南町四一(電一一五一)

大した反對はないといふ
事だ誠には結構な話である
ひるがえつて平市と神谷
村の合併を見るときどうで
あるか、神谷村の一部に
は徒らに感情にかられて
事の遷延を企ててゐる者
一九五〇年...新春早々
織物消費稅が廢止されま
した、税なしの新年度の
鉦仙、服地、友仙類が豊富
に入荷致して十五日より
特別價格にて販賣する事
の事、四町目の小野榮吳
服店へ御用命の程を御待
ちしております
その他放出綿布補修布等
も豊富に入荷致給中であ
るから... (廣告)

東北配電福島支店指定店
電燈電力請負

確定申告は正しく 農家には特に指導

税務署員が各町村で実施

昭和廿四年分の所得税の確定申告は本月限りとなり平定税務署では次の様な申告宣傳を行ふ事になつたが特に期限内に正しい申告を提出する様要望してゐる。

一、商工業者 六月豫てい申告又は修正申告を徳源した際提出した所得金額

はその後の調査並に諸般の状勢を勘案した結果妥當な所得金額であるからそれによつて申告するよう、尙念のため各業者に對しては右の得得金額を通知する。

二、農家 次の日程によつて申こく指導をするから役場から指ていされた日時に洩れなく指導を受けよう。

三、給與所得者同居家族に二人以上の給與所得者があつて昭和廿四年中の牧入金額の計が八万圓を超え、入金額の計が八万圓を超えても二ヶ所以上から給與を受ける場合の合計額が八萬圓以上の人は確てい申こくを提出しなければならぬ。

尙農家の申こく指導日割は次の如くで署員二名がこれに當る。

平一月二十八―三十日赤井二十五―三十日勿來、錦十六―二十一日植田、泉十六―二十日小名濱、十一―三十日内郷、磐崎、小川、大浦十六―二十一日好間二十二―二十七日湯本十六―十七日四倉二十七日―二十九日江名二十八日―三十日豊間二十八

中小炭礦を救済

市中銀行からの融資三億圓で

東 ニューズ 西

需要最盛期に入つて石炭の賣行もグン／＼上昇し山の元が滞りもようやく一掃されたが苦八苦で中小炭礦のなかには代金の回収が思ふようでない爲休山の止むらさきに至るものもある。縣でも捨て置きと對策を二人以上の給與所得者が講じた結果縣信用保證協會あつて昭和廿四年中の牧入金額の計が八万圓を超え、入金額の計が八万圓を超えても二ヶ所以上から給與を受ける場合の合計額が八萬圓以上の人は確てい申こくを提出しなければならぬ。



カマヤ

▲茨城縣しも館町南町の野澤某(17)を頭らに拾五才と拾三才迄の子供が組んでニワトリ専門の賊を働か今迄に合計五拾七羽を盗んで他に賣却活動見物

や買喰いをしてた事發覺してこの程町署に檢舉された

平に赴任して來て先づ驚いたのは旬刊、月刊、週刊新聞の多い事だそれがいろ／＼の名稱を附して廣くをとり來る、昨年の暮の如きは年賀と稱して廿七社が名刺を出した、そのいづれもが、主幹で

あり社長である。ところがその主幹との金をとる以外は何も知らず、記事なども満足にかけそうもないという、實に驚嘆に價する人々だつた、言論も自由であり新聞發行も自由だといふが、あの様な人々が澤山世に出る事は自由を履きちがいてる事だと思ふ當局にしても嚴重な取締りを斷行してもらいたい (某官廳生)

御挨拶

市民の皆様は絶大なる御協力によりまして今回新市廳舎が落成本日その式典を舉行致します事は誠に感激に堪えない次第であります。茲に謹んで謝意を表します。

一月十三日

平市役所

市長 鈴木辰三郎
助役 阿部 治英

祝平市廳舎落成

縣會議員 蓮沼龍輔

縣會議員 馬目武之助

平 郵 局
局長 小倉利市
外職員一同

平 稅 務 署
署長 佐藤博
外職員一同

石城郡町村長會

諸橋合名會社

諸橋久太郎

石城地方事務所

平 職業 安定 所

平 勞 政 事務 所

平 戰 災 復 興 事務 所

平 保 健 所

平 病 院

平 土 木 監 督 所

農 業 改 良 指 導 所

縣 水 產 事 務 所

開 拓 建 設 事 務 所